

ご意見用紙

玄海原子力発電所に関する県民説明会

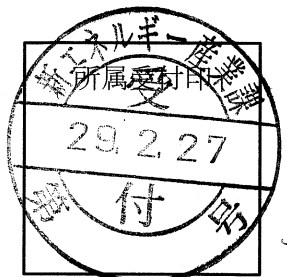
※この用紙は、記入後エントランスホールの回収箱にご投入ください。
 ※本日、回収箱への投入が難しい場合は、裏面記載の県内各地に設置しています県政提案箱にご投函いただくことも可能です。

* なお、ご記入の前に裏面の〈お願い〉をお読みください。

テーマ	★該当する項目をチェックしてください（複数選択可）。 <input checked="" type="checkbox"/> エネルギー政策に関する事 <input checked="" type="checkbox"/> 原子力安全対策に関する事 <input checked="" type="checkbox"/> 原子力災害対策に関する事 <input checked="" type="checkbox"/> その他
今日の説明で「安全を最優先」とくりかえしていましたが、放射性廃棄物の保管や処理にかかる莫大なコストと時間をどう考えるか、通商事故に対して誰が責任をとるのか、ということが見えてきません。	
昨年、福島原発被災地を見て来ましたが、5年半たっても「時間か止まったまま」の光景を眼のあたりで見ると、「里山を大切に」「定住促進」「田舎暮らし」と頑張っている佐賀の富士や三瀬の人々の暮らしがどうなるかわからなくなる危険を冒してまで原発を再稼働させることには意味は無い、むしろ罪作りだと思いました。	
避難計画も、子も九電や国のために自治体や住民、事業者が苦勞して負わなければならないのか、そうして動かしたのか、はっきり疑問です。 子下、	
「地元同意」の範囲と原発事故の ^{放射能} 拡散の実態はまったくわかりません。PAZやUPZの概念も、実際の被害や ^{放射能} 状況とはわかりかと思います。30km圏外の自治体も視野に入れて考えたり、もう、原発はやめて、そのお金は本当に安全な再生エネ、自然エネの普及に	

会場名に○をつけてください⇒

唐津 ・ 武雄 ・ **佐賀** ・ 伊万里 ・ 鳥栖



37